

道徳教育「校内研修パッケージ」



# 「考え、議論する道徳」の 実現に向けて

北海道教育庁学校教育局義務教育課

# 校内研修パッケージ コンテンツ

- ①新学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳科の授業
- ②道徳教育のカリキュラム・マネジメントの充実**
- ③道徳科の特質を踏まえた授業改善
- ④道徳科の授業におけるICTの効果的な活用
- ⑤道徳科の評価の改善・充実

## Contents②

道德教育の

カリキュラム・マネジメントの充実

学校として  
どのような子どもを育てたいのかが  
明らかになっていますか？  
子どもたちのどのような心を  
育てたいのですか？



# 内 容

- 学校の教育活動全体を通じた道徳教育
- 道徳教育の全体計画の評価、改善
- 全体計画の別葉の評価、改善

学校の教育活動全体を通じた道徳教育

---

# 学校の教育活動全体を通じた道徳教育

例えば、

- 新型コロナウイルス感染症に伴い、
- ・医療従事者などへの不当な差別
- ・SNSにおける誹謗中傷

道徳科における指導

直接的な指導

差別や誹謗中傷を  
してはいけませんよ



日常生活や今後出会うであろう様々な場面、状況において、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような道徳性を養う

◆例えば

- 「よりよい学校生活、集団生活の充実」
- 「感謝」「相互理解、寛容」
- 「節度、節制」「規則の尊重」
- 「公正・公平、社会正義」
- 「生命の尊重」 など

心のケア

カリキュラム・マネジメント

# 学校の教育活動全体を通じた道徳教育

学校における道徳教育は、特別の教科である道徳（以下「道徳科」という）を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童（生徒）の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。

学校で行う道徳教育は、学校の教育活動全体を通して行うことが、学習指導要領の総則に示されています。



「小（中）学校学習指導要領 第1章 総則の第1の2（2）」

※（ ）は中学校の表記

# 学校の教育活動全体を通じた道徳教育

道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を、全教職員が共通理解して一体となって推進するためには、学校として育てようとする児童（生徒）の姿を明らかにしなければならない。その上で、校長の方針に基づいて、学校の道徳教育の目標を設定して指導することが大切である。

学校教育目標の具現化を図るためにも、本校が全教育活動を通して目指す子どもの姿をより具体的に設定することが大切です。



「小（中）学校学習指導要領 解説総則編 第3章 第2節3の（1）」

※（ ）は中学校の表記

# 道徳教育の全体計画の評価、改善

---

# 道徳教育の全体計画（例）

法的根拠

道徳教育の重点目標

教職員の願い

道徳の指導の方針

生徒指導  
特色ある教育活動、  
豊かな体験活動、  
環境整備、  
家庭・地域との連携  
における指導の方針

学校の教育目標

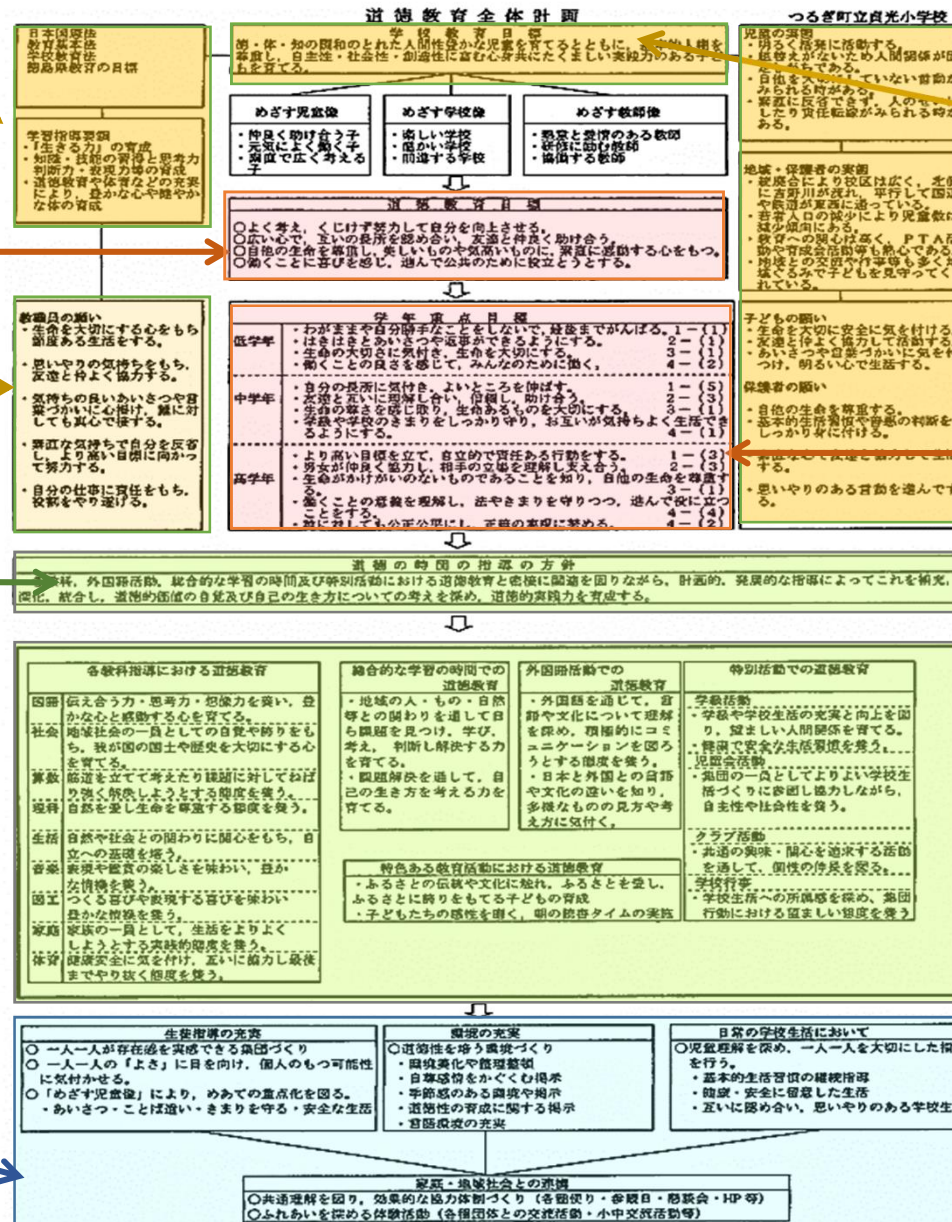
地域・保護者、  
子どもの願い・実態

各学年の重点目標

各教科、外国語活動、  
総合的な学習の時間、  
特別活動における  
指導の方針

別葉

指導の内容・時期



# 道徳教育の全体計画の評価、改善

## 1 子どもの実態把握


- 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙等を活用する。

文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」  
成果普及資料

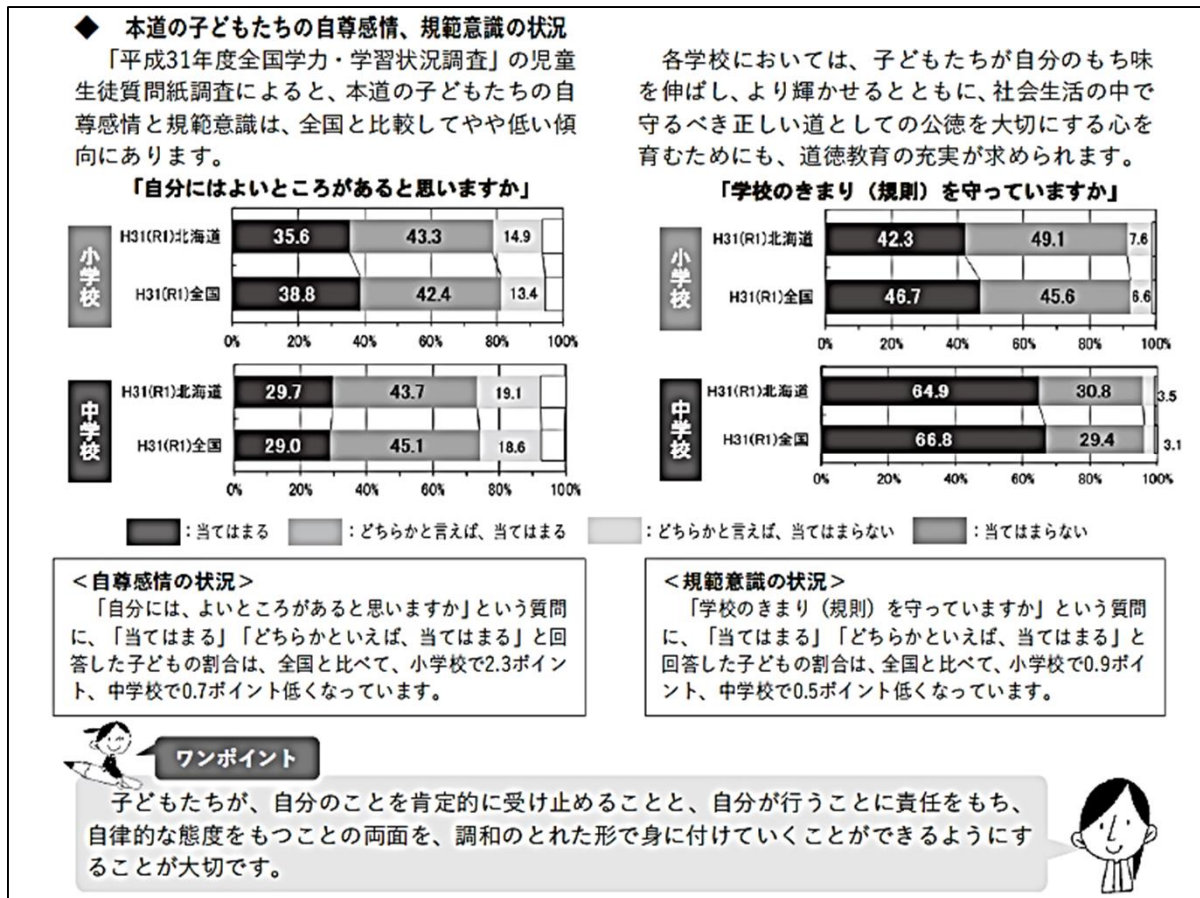
### 自尊感情、規範意識を醸成する 道徳教育の充実

～豊かでたくましい心を育むために～

本道の子どもの自尊感情、規範意識の醸成に向け、道内小・中学校の協力を得て、優れた実践例を取りまとめました。子どもたちや学校の実態に応じて、本資料をご活用ください。



北海道教育委員会



【「自尊感情、規範意識を醸成する道徳教育の充実」北海道教育委員会（令和2年3月）】

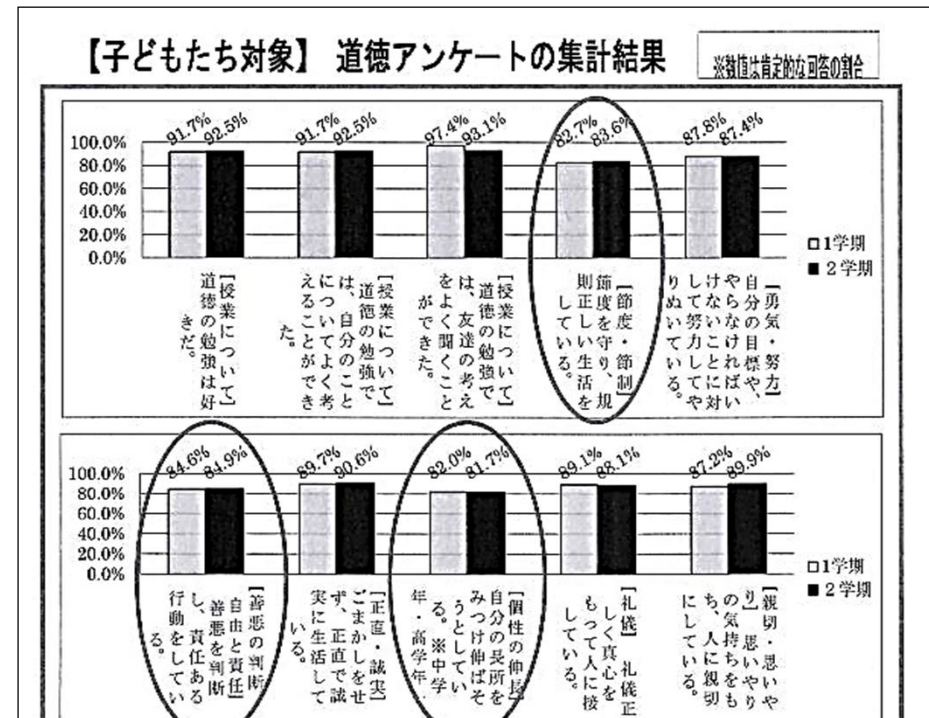
# 道徳教育の全体計画の評価、改善

## 1 子どもの実態把握

- 内容項目を活用して児童生徒アンケートを行う。

		1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない	
自分自身について	(1)	自分で判断して、責任のある行動をしている。	1-2-3-4
	(2)	明るい心で、生活している。	1-2-3-4
	(3)	自分の生活を見直し、規則正しい生活習慣を身に付けている。	1-2-3-4
	(4)	自分のよさを伸ばしている。	1-2-3-4
	(5)	より高い目標を立て、くじけずに努力してやりぬいている。	1-2-3-4
	(6)	疑問やわからないことをそのままにせず、よく考えたり、確かめたりしている。	1-2-3-4
	(7)	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場	1-2-3-4

【内容項目を活用したアンケートの例】



【アンケート結果を共有するための校内研修資料の例】

# 道徳教育の全体計画の評価、改善

## 2 保護者や地域の人々の願い

- 学校評価アンケートに道徳教育に関わる内容を設定する。
- 保護者や地域住民対象の道徳アンケートを実施する。
- 児童生徒の道徳性の発達や学校、家庭、地域の願いを交流し合う機会をもつ。 など

1 御家庭において、特に大切と思うものを、下の表のA～Vから3つ選んでください。

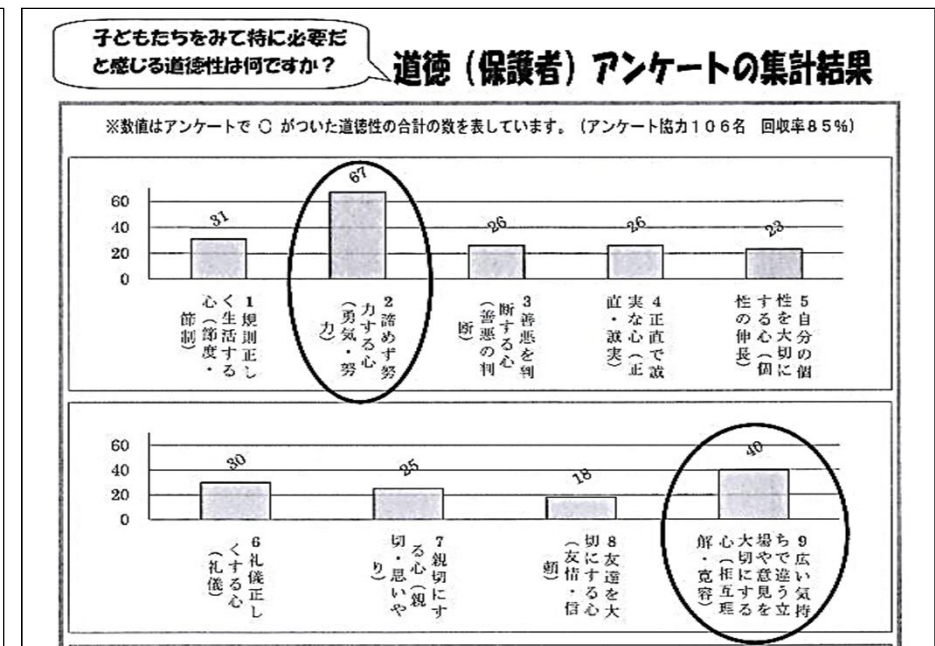
□ □ □

2 学校で指導すべきこととして、特に大切と思うものを、下の表のA～Vから3つ選んでください。

□ □ □

自分自身に関すること	A 自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をする。
	B 誠実に、明るい心で生活する。
	C 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、前向きに行動し、目標に向かって努力する。
	D 自分の特徴を知って、長所を伸ばす。
	E より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけず努力して物事をやり抜く。
	F 真摯に、物事を探究しようとする心をもつ。
人との関わりに関すること	G 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。
	H 1々の生活が家族や地域からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応える。
	I 時と場合をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。
	J 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても信頼しながら、人間関係を築いていく。
	K 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、思いやりを持って自分と異なる意見や立場を尊重する。

【保護者対象のアンケートの例】



【アンケート結果を共有するための校内研修資料の例】

# 道徳教育の全体計画の評価、改善

## 3 教職員の願い

- 年間を通じて、教職員が子どもの成長やよさ、改善すべき点等を共有する機会を設定する。
- 学校の重点目標をもとに、学年やブロックで目標を設定、更新する時間、それを全教職員で共有する時間を設定する。 など



【年間複数回の評価、改善の機会の設定】



【ワークショップ型の校内研修で計画の評価、改善】

# 全体計画の別葉の評価、改善

---

# 全体計画の別葉の評価、改善

## 例えば、小学校では

本校の重点目標は、「**規範意識**」です。内容項目Cの視点「**規則の尊重**」について、各教科など、**道徳科以外**でどのように行えるかを、全教職員で検討してください。

校長



4年生は、特別活動の学級会で、自分たちできまりをつくる指導をします。



1年生は、生活科の公園にある遊具での遊びを通して公共心の指導をします！

6年生は、社会科の地方公共団体の働きで公共について指導します。

# 全体計画の別葉の評価、改善

## 例えば、中学校では

本校の重点目標は、「**規範意識**」です。内容項目Cの視点「**遵法精神**」について、各教科など、**道徳科以外でどのように行えるか**を、全教職員で検討してください。

校長



吹奏楽部では、一般の方が利用する施設を使わせてもらう際に、公德心を考えさせます。

「**道徳教育を行っている**」という意識が大切です。



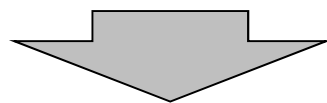
保健体育では、球技などで、ルールを守って、みんなが協力して参加できるようにすることを意識して指導をします！

生徒会の活動で、学習のきまりを守ることにについて、生徒自身が企画を立案できるように指導します！

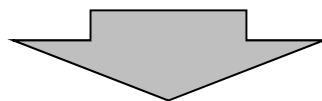
# 全体計画の別葉の作成手順（例）



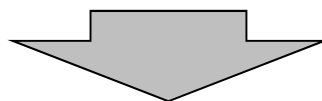
学校の重点内容項目に関わる  
各教科等で行う道徳教育を構想



日々の授業を行いながら、道徳教育とし  
て指導したい教育活動をメモ



累積したメモの指導計画への位置付け



# 全体計画の別葉の作成手順（例）

	国語	算数	生活	音楽
<b>A 主として自分自身に関すること</b>				
善悪の判断、 自律、自由と責任			自分でできることをしっかりと 行う(7月)	
正直、誠実				
節度、節制				演奏や歌唱の順番を守る (6月)
個性の伸長			自分自身の成長を振り返る (2月)	
希望と勇気、 努力と強い意志		乗法九九を身に付ける (9月)		
真理の探究				
<b>B 主として人との関わりに関すること</b>				
親切、思いやり	グループで話し合って考えを まとめる(6月)		幼児の思いに応じて行動す る(9月)	感じ取ったことを相手に伝え る(9月)
感謝			通学路の安全を守る人々に 感心をもつ(4月)	
礼儀	場面に合わせて挨拶をする (4月)		地域の人々と適切な言葉遣 いで接する(11月)	
友情、信頼	作文を読んで感想を伝え合 う(10月)		遊びを工夫して友達と仲よく 遊ぶ(2月)	友達と一緒に声を合わせて 歌う(6月)
相互理解、寛容				
<b>C 主として集団や社会との関わりに関すること</b>				
規則の尊重		10進位取り記数法をもとにき まりについて考える(9月)	公共施設の利用から公德に ついて考える(10月)	音楽的な約束事を守って活 動する(10月)

例えば、重点目標の「思いやりをもつこと」「きまりを守ること」を中心に、全教職員で検討した道徳科以外の道徳教育を一覧表にし、別葉を作成します。



## 全体計画の別葉の作成手順（例）

道徳教育の全体計画の作成に当たっては、児童（生徒）、学校及び地域の実態を考慮して、学校の道徳教育の重点目標を設定するとともに、道徳科の指導方針、第3章特別の教科道徳の第2に示す内容との関連を踏まえた**各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における指導の内容及び時期**並びに家庭や地域社会との連携の方法を示すこと。

道徳教育の全体計画に**道徳科以外の道徳教育の内容及び時期**を示す必要があることが、総則に示されています。



「小（中）学校学習指導要領 第1章 総則の第6の1」

※（ ）は中学校の表記

# 全体計画の別葉の作成手順（例）

本校の道徳科以外の道徳教育の指導の内容及び時期が明らかになりました。



例：小学校第2学年（指導の内容及び時期を示した例）

	国語	算数	生活	音楽
<b>A 主として自分自身に関すること</b>				
善悪の判断、自律、自由と責任			自分でできることをしっかりと行う(7月)	
正直、誠実				
節度、節制				演奏や歌唱の順番を守る(5月)
個性の伸長			自分自身の成長を振り返る(2月)	
希望と勇気、努力と強い意志				
真理の探究				
<b>B 主として人との関わりに関すること</b>				
親切、思いやり	グループで話し合っ て考えをまとめる(6月)		幼児の思いに応じて行動する(9月)	感じ取ったことを相手に伝える(9月)
感謝			通学路の安全を守る人々に感心をもつ(4月)	
礼儀	場面に合わせて挨拶をする(4月)		地域の人々と適切な言葉遣いで接する(11月)	
友情、信頼				せて
相互理解、寛容				
<b>C 主として集団や社会との関わりに関すること</b>				
規則の尊重		10進位取り記数法をもとにきまりについて考える(9月)	公共施設の利用から公德について考える(10月)	音楽的な約束事を守って活動する(10月)

**重点目標「思いやり」に関する指導**

**重点目標「規則の尊重」に関する指導**

# 全体計画の別葉の評価、改善

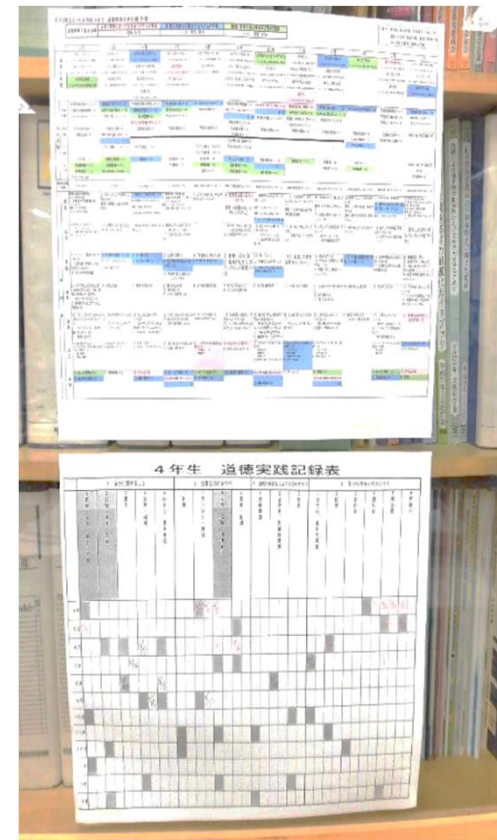
## 実施状況の把握の視点

- 日常の道德教育が確実に行われたか。
- 全体計画及び別葉が効果的に活用されていたか。
- 各教科等の特質を損なうことなく、学校の重点内容項目に関わる指導が行われたか。
- 道德科の授業が、日常の道德教育と密接な関連を図りながら実施されているか。

# 全体計画の別葉の評価、改善

## 実施状況の把握

- 別葉の職員室掲示などの工夫を行い、指導した事項を教職員で確認し合う。
- ◇ 各自の道徳教育の自己点検を行う。
- ◇ 他の学年の進捗状況を把握して、自らの指導の参考にする。
- ◇ 新たな指導場面や改善点を朱書きする。
- ◇ 重点内容項目に特化した別葉を作成し、活用を進める。 など



【別葉を職員室に掲示し活用を進めている例】